

起業家やビジネスパーソンに 図書館でのリサーチをオススメします



竹内 利明 氏

電気通信大学 産学官連携センター 客員教授
ビジネス支援図書館推進協議会 会長

ビジネスにおける情報の価値・重要性が更に高まっています。

情報収集の初期はインターネットが効率的です。しかし、経営判断に使うには不安があります。本誌を利用すれば、信頼性の高い情報収集に要する時間を短縮できます。また、インターネットにない情報（書籍やデータベース等）を活用した差別化にも利用可能です。

図書館員はビジネス情報の相談（レファレンス）に対応することで成長します。利用者と一緒に情報収集と検討を重ねれば、的確な情報を提供できるようになります。そこで、埼玉県立熊谷図書館のビジネス支援サービスを積極的に利用することをお勧めします。

須永 昌志 氏

熊谷商工会議所 中小企業相談所長

当所では経営者、創業者からの経営に関するご相談を受けております。

創業者については情報収集が不足しており、創業計画を作成するにも苦慮されております。埼玉県立熊谷図書館のビジネス支援室ができてからは、商圈分析にあたって「市場情報評価ナビMieNa」を利用するようにお勧めしております。このことにより、計画に数値的な裏付けができ、創業に向けて実現可能性が高まっていると思います。

このようにビジネス支援室は、創業者にとって素晴らしい情報拠点だと思いますが、営業、マーケティング、法務などに関わるビジネスパーソンにも役立つ情報が多くあり、積極的に活用されることをお勧めいたします。



高島 稔 氏

中小企業診断士

「情報収集しよう」と思っても、どうやって調べれば良いかわからない、というシーンは多いと思います。インターネットで調べようと思っても、どんなキーワードで調べてよいかさっぱりわからない。そんな時は、情報収集のプロである司書の皆さんに聞いてみましょう。司書はいわば、情報のコンサルタントです。是非、「こんなビジネスを考えています。参考になる情報はありますか？」と聞いてみてください。蔵書、国内で出版されている本、行政が発信している情報から新聞記事までありとあらゆる情報からあなたにぴったりの情報を選定してくださいませ。我々経営コンサルタントも自信を持ってお勧めします。